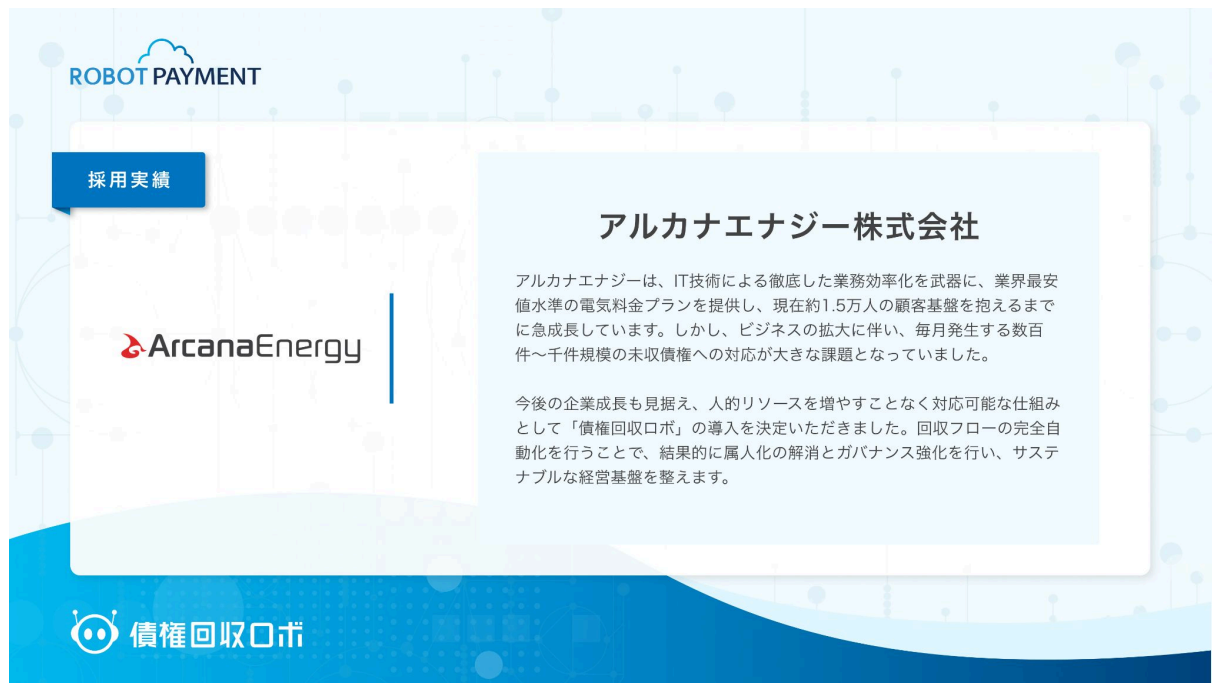


## 新電力のアルカナエナジーが、 督促・回収のデジタルインフラ「債権回収ロボ」を導入

1.5万人の顧客基盤を支える督促DX。  
人的リソースを抑え、業界最安値水準を支えるバックオフィスを構築

企業のお金の流れを円滑にし、新たな価値創造を促進する株式会社ROBOT PAYMENT（本社：東京都渋谷区、代表取締役執行役員CEO：清久 健也、証券コード：4374、以下 当社）は、督促・回収のデジタルインフラ「債権回収ロボ」が、アルカナエナジー株式会社（本社：東京都港区、以下 アルカナエナジー）に採用されたことをお知らせします。



**採用実績**

**アルカナエナジー株式会社**

アルカナエナジーは、IT技術による徹底した業務効率化を武器に、業界最安値水準の電気料金プランを提供し、現在約1.5万人の顧客基盤を抱えるまでに急成長しています。しかし、ビジネスの拡大に伴い、毎月発生する数百件~千件規模の未収債権への対応が大きな課題となっていました。

今後の企業成長も見据え、人的リソースを増やすことなく対応可能な仕組みとして「債権回収ロボ」の導入を決定いただきました。回収フローの完全自動化を行うことで、結果的に属人化の解消とガバナンス強化を行い、サステナブルな経営基盤を整えます。

**債権回収ロボ**

### 督促・回収のデジタルインフラ「債権回収ロボ」

「債権回収ロボ」は、ビジネスの成長を支える督促・回収のデジタルインフラです。メール、SMS、IVRなど多角的な督促手段を網羅し、属性や債権額に応じた最適な督促シナリオを自由に設計・分析可能。属人化しがちな回収業務を自動化することで、担当者をストレス

フルな作業から解放し、高度なコミュニケーションデザインへと注力できる環境を提供します。回収水準を底上げし、企業のキャッシュフローを支えます。

債権回収ロボ：

<https://www.robotpayment.co.jp/lan/collectrobo/>

## 「債権回収ロボ」採用の背景と目的

アルカナエナジーは、「人手を増やさずにスケールする電力会社」をコンセプトに、ITによる徹底した業務自動化を推進し、業界最安値水準の料金を実現してきました。現在では約1.5万件の顧客基盤へと成長しています。一方で、事業拡大に比例して未収債権も増加し、毎月数百～千件規模の督促対応が発生。本来は“自動化されるべき業務”に対して、人手が介在している状態がボトルネックとなっていました。

従来は営業担当2名が月間約48時間を費やし、複数システムを横断したオペレーションを手動で実施。判断基準や対応品質は担当者の経験に依存しやすく、再現性・統制の両面で課題を抱えていました。さらに、金銭に関わるコミュニケーション特有の心理的負荷も無視できず、「成長のために人を増やす」のではなく、「そもそも人が不要な構造にする」ことが経営課題として顕在化していました。

この課題に対し同社は、督促業務そのものを再設計し、完全自動化する方針を採択しました。

## 「債権回収ロボ」採用の決め手

アルカナエナジーの「ITでコストを極限まで削減し、顧客へ還元する」という方針に基づき、以下の点が評価され導入に至りました。

### 1. 督促業務の“無人化”

オートコール・SMS・メールを統合し、最適なタイミングとチャネルで自動アプローチを実行。人手を介さず、24時間365日、均質かつ継続的な回収プロセスを実現します。感情や属人的判断を排除することで、顧客体験を損なわない「静かで強い督促」を可能にしました。

### 2. ブラックボックスの排除とガバナンスの再構築

これまで担当者の中に閉じていた回収ロジックをシステムとして可視化・標準化。業務の再現性を担保すると同時に内部統制の強化にも寄与します。特定個人への依存を排除することで、組織として持続可能なオペレーション基盤を構築しました。

### 3. スケールに比例しないオペレーション設計

顧客数が数倍に拡大しても、追加の人員は不要。督促業務をシステムの中核（ハブ）として再定義することで、事業成長とコスト構造を切り離しました。

これは単なる効率化ではなく、「低価格を維持し続けるための構造設計」です。

## 「債権回収ロボ」導入による本質的な変化

- ・ 月間約48時間の人的工数を実質ゼロへ
- ・ 対応品質のばらつきを排除し、常に一定水準を維持
- ・ 心理的負荷の高い業務を排除し、人的リソースをコア業務へ再配置
- ・ 事業拡大に対する“隠れコスト”を根本的に解消

### アルカナエナジー株式会社について

アルカナエナジー株式会社は、**沖縄を除く日本全国に展開する電力小売事業者**です。ITによる徹底した業務最適化を基盤に、シンプルかつ業界最安値水準の電気料金を提供しています。同社の最大の特徴は、「**人員の増加を前提としない事業成長モデル**」を実装している点にあります。督促業務を含むバックオフィス全体をシステムで再設計することで、成長とコストの連動を断ち切り、持続的な低価格提供を可能にしています。

<https://arcana-energy.co.jp/>

### 本件に関するインタビュー詳細（note）

導入の経緯や、アルカナエナジーが直面していた「督促の現場」のリアルな声については、下記noteにて公開しております。ぜひ併せてご覧ください。

**note：アルカナエナジー様 導入事例インタビュー**

<https://note.com/noterobotpayment>

### 株式会社ROBOT PAYMENT 会社概要

2000年創業。法人向け決済サービスを軸に、サブスク管理、請求・債権管理システムなどの金融ソリューションを提供。年間決済取扱高は2千億円を超え、大企業から個人事業主まで幅広く利用されています。「商取引を自由に作る決済インフラで再び日本を強くする」というビジョンに向け、商取引を阻む「慣習」「非効率」「与信」の壁を壊し、お金の流れを円滑にし、新たな価値創出を目指します。

社名	：株式会社ROBOT PAYMENT（東証グロース：4374）
所在地	：東京都渋谷区神宮前6-19-20 第15荒井ビル4F
設立	：2000年10月
代表	：代表取締役執行役員CEO 清久 健也

企業サイト : <https://www.robotpayment.co.jp/>  
サービス一覧 : <https://www.robotpayment.co.jp/service/>

**▼メールマガジン・LINE公式アカウントで各種情報を配信しています**

**メールマガジン**

- すべての適時開示・PR情報をリアルタイムにお知らせ
- 登録はこちら : <https://www.magicalir.net/4374/mail/>

**LINE公式アカウント**

- 主要ニュースリリース（解説コメント付き）、イベント案内・セミナー出演のお知らせ等
- IR担当者とチャットで質問・お問い合わせのやりとり
- 登録はこちら : <https://lin.ee/keiczv9>

**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

株式会社ROBOT PAYMENT  
担当者：IR室 菊地  
mail : [ir@robotpayment.co.jp](mailto:ir@robotpayment.co.jp)